

R3業務改革に係るRPAライセンス導入及びロボット開発・保守業務〔企画競争入札方式〕
企画提案を特定するための基準

評価項目	評価の着目点			
		判断基準	高度な企画立案を要する業務	
企業の経験及び能力	業務実績	企業の過去10年間の同種又は類似業務の実績	下記に該当する場合は特定しない。 ・業務実績がない	数値化しない
	W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令（女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、若者雇用促進法）に基づく認定等の状況	複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行う。 (1) 女性活躍推進法に基づく、えるぼし認定企業 ① プラチナえるぼし ② えるぼし3段階目（※1） ③ えるぼし2段階目（※1） ※1 認定基準のうち、「労働時間等の働き方」の基準を満たしていること。 ④ えるぼし1段階目（※1） (2) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定した企業（常時雇用する労働者の数が300人以下のものに限る。） ⑤ 行動計画 (3) 次世代育成支援対策推進法に基づく、くるみん認定企業、プラチナくるみん認定企業 ⑥ プラチナくるみん認定 ⑦ くるみん認定（新基準） ⑧ くるみん認定（旧基準） (4) 若者雇用促進法に基づく、ユースエール認定企業 ⑨ ユースエール認定	① 3.0 ② 2.5 ③ 2.0 ④ 1.5 ⑤ 1.0 ⑥ 3.0 ⑦ 2.0 ⑧ 1.0 ⑨ 3.0
配置予定技術者（主たる担当者）の業務経験及び能力	業務経験	配置予定技術者（主たる担当者）の過去10年間の同種又は類似業務の実績	下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 ③ 業務実績が無い場合は特定しない。	① 1.0 ② 5 ③ 特定しない
	専任性	手持ち業務量	配置予定技術者（主たる担当者）の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）が4億円以上または10件以上の場合は特定しない。	数値化しない
当該業務の実施体制（業務実施体制）	業務実施体制の妥当性		下記に該当する場合は特定しない。 ・再委託の内容が主たる部分の場合。 ・業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。	数値化しない
業務の実施方針及び手法（実施方針・実施フロー・工程表・その他）	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	5
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	5
	工程表		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	5
	その他		有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	5
	なお、業務の目的が理解されておらず、実施フローや工程表の妥当性が著しく劣る場合は特定しない。			数値化しない
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	・業務内容等で示した与条件との整合が取れている場合に優位に評価する。 ・必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法等）が記述されている場合に優位に評価する。 ・業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。 ・業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。 ・業務の的確性に著しく欠ける場合は特定しない。	1.0
		実現性	・提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ・提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ・利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。 ・提案内容によって想定されるコストが適切な場合に優位に評価する。 ・業務の実現性に著しく欠ける場合は特定しない。	1.0
		獨創性	・これまでの知見に基づく前例のない提案がある場合に優位に評価する。 ・周辺分野、異分野技術を援用した、高度の技術手法の提案がある場合に優位に評価する。 ・複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。 ・先進的技術の提案がある場合に優位に評価する。	1.0
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積もりが不適切な場合には特定しない。	数値化しない

- 同種業務 : RPAを活用して業務効率化の検討を行った業務
- 類似業務 : RPAの導入支援または運用保守を行った業務（同種を除く）
- 特定テーマ : RPAを活用した業務改革の有効な進め方について

企画競争方式における特定結果書

- 1. 業務名 R3業務改革に係るRPAライセンス導入及びロボット開発・保守業務
- 2. 所属(事務所)名 総務部 総務課
- 3. 企画競争方式 高度な企画立案を要する業務
- 4. 企画提案書の提出要請日 令和3年11月 8日
- 5. 公示日 令和3年10月22日
- 6. 特定通知日 令和3年11月17日

企画提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
東芝デジタルソリューションズ株式会社	○	—
A社	×	評価の着眼点のうち、企業の経験及び能力の「W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況」、配置予定技術者の業務経験及び能力の「業務経験」、業務の実施方針及び手法の「業務理解度」「実施手順」「工程表」「その他」、特定テーマに対する提案の「実現性」「独創性」において他社が優位であると判断したため。

企画競争評価表

1. 業務名 R3業務改革に係るRPAライセンス導入及びロボット開発・保守業務
2. 所属(事務所)名 総務部 総務課
3. 企画競争方式 高度な企画立案を要する業務
4. 企画提案書の提出要請日 令和3年11月8日
5. 特定通知日 令和3年11月17日

評価項目	評価の着目点		評価のウエイト	1	2
				東芝デジタルソリューションズ株式会社 配点	A社 配点
企業の経験及び能力	業務実績	企業の過去10年間の同種または類似業務の実績	数値化しない	適合	適合
	W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令に基づく認定等の状況	3	2.5	0
配置予定技術者(主たる担当者)の業務経験及び能力	業務経験	配置予定技術者(主たる担当者)の過去10年間の同種又は類似業務の実績	10	10	5
	専任性	手持ち業務量	数値化しない	適合	適合
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性		数値化しない	適合	適合
業務の実施方針及び手法(実施方針・実施フロー・工程表・その他)	業務理解度	目的、条件、内容の理解	5	4	1.5
	実施手順	業務実施手順の妥当性	5	3.7	1.5
	工程表	業務量把握の妥当性	5	3.5	0
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘	5	4	1.5
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	10	6	6
		実現性	10	7	3
		独創性	10	5.5	4
参考見積	業務コストの妥当性		数値化しない	適合	適合
計			63	46.2	22.5